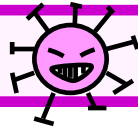


感染症に気をつけよう!

2022年【8月号】



横浜市内の感染症 流行状況



8月2日
発行

感染症*	流行状況		説明【解説付き既刊号等】 ← クリック
新型コロナウイルス感染症*	大流行	増加	7月に入り急激に増加していました。幅広い年齢層での感染がみられます。【'22.7号】
手足口病**	発生	増加	5月中旬から増加しています。市内の複数の地域で、警報レベルに達しています。【'19.7号】
腸管出血性大腸菌感染症**	発生	横ばい	6月以降、多く報告されています。その半数は感染経路等が不明です。【'19.9号】【ちらし】
梅毒**	発生	横ばい	梅毒などの性感染症は、報告数の比較的多い状況が続いています。【ちらし】

国立感染症研究所*

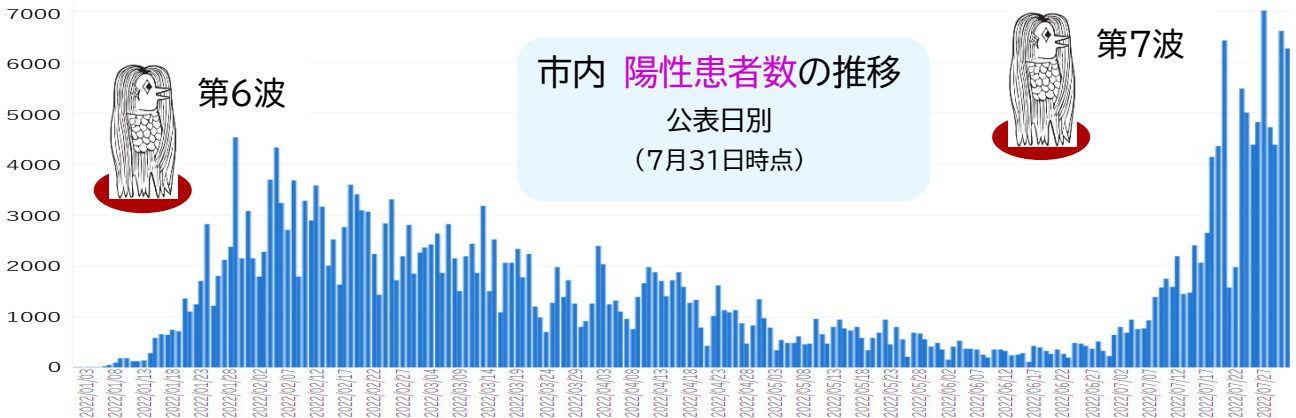
厚生労働省**

横浜市衛生研究所【感染症情報センター】

今、気をつけたい感染症



新型コロナウイルス感染症



知らないうちに、拡めちゃうから。



マスク着用



手洗い



密接回避



密集回避



密閉回避



換気

- ▶ 高齢者や基礎疾患のある人が感染すれば、重症化リスクも高まります。
- ▶ ひとりひとりの行動が、大切な人と私達の日常を守ることにつながります。
- ▶ 引き続き、基本的な感染対策を徹底しましょう。*



参考リンク: 横浜市保健所

【新型コロナウイルス感染症に関する情報について】

【新型コロナウイルスワクチン接種について】